

対象校No.
注4学校コード F225310107387
注3

設置年度 令和 7年度

届出計画の区分： 短大の学科の設置
注1注2
滋賀短期大学

デジタルライフビジネス学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)学校法人純美禮学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	ショーン マツオカウキ 主任・松岡佑樹
電話番号 (夜間)	077-524-3605 (内線：275)
e-mail	soumu@sumire.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

滋賀短期大学

<デジタルライフビジネス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教育研究実施組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人純美禮学園

(2) 大学名

滋賀短期大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒520-0803

滋賀県大津市竜が丘24-4

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	アキヤマ モトヒデ 秋山 元秀 (令和3年4月)		
学長	アキヤマ モトヒデ 秋山 元秀 (平成30年4月)		
学科長	ナカヒラ マユミ 中平 真由巳 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合は、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
デジタルライフビジネス学科 短期大学士(生活ビジネス学)	家政関係 経済学関係	2年	150人	2年次 0人 3年次 人 4年次 人	300人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	150人 () [2]	人 () []	-	0.78倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	135 [1]	() []	-			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	135 [1]	() []	-			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	135 [1]	() []	-			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	119 [1]	() []	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.79	-	-			

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	118	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	118	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [-]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	118 人	1 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	1 人	0 人	除籍(1人)
合計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{119} = \boxed{0.84} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<デジタルライフビジネス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を(助手)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	音楽とは何か	1・2前			2							1	
	近江学入門	1・2前			2							1	
	国際地理	1・2後			2							1	
	アジアの言語と文化	1・2後			2				1				
	心理学	1・2前			2							1	
	心と身体のヘルスケア	1・2前			2							1	
	子どもの世界	1・2後			2							1	
	日本国憲法	1前			2			1				1	
	現代の健康	1・2前			2								
	数の不思議	1・2後			2							1	
	スポーツ演習	1・2後			2							1	
	ころとからだの健康	1前			1							1	
	スポーツ実技(テニス)	1後			1							1	
	スポーツ実技(フィットネス)	1後			1							1	
	スポーツ実技(バレー)	1後			1							1	
	日本語 I	1前			1					1			
	日本語 II	1後			1					1			
	英語 I	1・2前			1							1	
	英語 II	1・2後			1							1	
	フランス語 I	1・2前			1							1	
	フランス語 II	1・2後			1							1	
	中国語 I	1・2前			1							1	
	中国語 II	1・2後			1							1	
	ベトナム語 I	1・2前			1					1			
	ベトナム語 II	1・2後			1					1			
	英語海外研修A	1前・休			2					1			
	英語海外研修B	1後・休			2					1			
	キャリア基礎演習	1前		○	1			7		3	1		
	キャリアデザイン演習	1後		○	1			7		3	1		
	データサイエンス・リテラシー	1前		○	2			1					
	環びわ湖単位互換科目	—				8							
小計(31科目)	—			4	48	0	7	0	3	1	0	13	
学科共通	デジタルライフビジネス概論	1前	○	1			5		3				
	ライフ・ファイナンシャルプランニング	1後	○	2			1						
	食生活論	1・2後	○	2					1				
	コミュニケーション論	1後	○	2			1					1	
	ホスピタリティ論	2前	○	2			1						
	コンピュータリテラシー(データ処理) I	1前	○	1			1			1			
	コンピュータリテラシー(情報表現) I	1後	○	1			1			1		1	
	地域貢献専門演習 I	1後	○	1			7		3	1			
	地域貢献専門演習 II	2前	○	1			7		3	1			
	地域貢献専門演習 III	2後	○	1			7		3	1			
	ショップマネジメント I	2前			2							1	
	ショップマネジメント II	2後			2							1	
	フードコーディネート論	2前			2							4	
	カラーコーディネート論	2前			2							1	
	ラッピング演習	2後			1							1	
	マーケティング論	1前・2前			2			1					
	スポーツ栄養	2後			2							1	
	レシピ動画	2後			2					1		1	
	食健康・製菓マイスターコース横断	公衆衛生学 I	1前・1後			2							2
		食品学総論	1前	○		2		1					
食品学各論		1・2後			2							1	
食品学実験		1・2前			1		1						
食品衛生学 I		1前・1後	○		2		1						
食品衛生学実験		1・2後			1		1						
基礎栄養学		1前・1後	○		2		1						
応用栄養学		1後			2						1		
調理学		1・2前			2		1						
調理学実習 I		1・2前	○		1		1						
調理学実習 II	1・2後			1		1							
食品の官能評価・鑑別演習	2前			2							1		

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を(助手)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	音楽とは何か	1・2前			2							1	
	近江学入門	1・2前			2							1	
	国際地理	1・2後			2							1	
	アジアの言語と文化	1・2前			2					1			
	心理学	1・2前			2							1	
	心と身体のヘルスケア	1・2前			2							1	
	食べものと栄養	1・2後			2			3		1	1		
	子どもの世界(未開講)	1・2後			2							1	
	日本国憲法	1後			2							1	
	現代の健康	1・2後			2			1					
	数の不思議	1・2後			2							1	
	スポーツ演習	1・2後			2							1	
	ころとからだの健康	1前			1							1	
	スポーツ実技(テニス)	1後			1							1	
	スポーツ実技(フィットネス)	1後			1							1	
	スポーツ実技(バレー)	1後			1							1	
	スポーツ実技(ボウリング&ゴルフ)	1前・休			1							1	
	日本語 I(未開講)	1前			1					1			
	日本語 II(未開講)	1後			1					1			
	英語 I	1・2前			1							1	
	英語 II	1・2後			1							1	
	フランス語 I	1・2前			1							1	
	フランス語 II	1・2後			1							1	
	中国語 I	1・2前			1							1	
	中国語 II	1・2後			1							1	
	ベトナム語 I	1・2前			1						1		
	ベトナム語 II	1・2後			1						1		
	英語海外研修A(未開講)	1前・休			2						1		
	英語海外研修B(未開講)	1後・休			2						1		
	キャリア基礎演習	1前		○	1			6		5	1		
	キャリアデザイン演習	1後		○	1			6		5	1		
データサイエンス・リテラシー	1前		○	2						1			
環びわ湖単位互換科目	—				8								
小計(33科目)	—			4	51	0	6	0	5	1	0	13	
学科共通	デジタルライフビジネス概論	1前	○	1			5		3				
	ライフ・ファイナンシャルプランニング	1後	○	2			1						
	食生活論	1・2後	○	2					1				
	コミュニケーション論	1後	○	2			1					1	
	ホスピタリティ論	2前	○	2			1						
	コンピュータリテラシー(データ処理) I	1前	○	1			1				2		
	コンピュータリテラシー(情報表現) I	1前	○	1			1				1	1	
	地域貢献専門演習 I	1後	○	1			7		6	4	1		
	地域貢献専門演習 II	2前	○	1			7		6	4	1		
	地域貢献専門演習 III	2後	○	1			7		6	4	1		
	ショップマネジメント I	2前			2							1	
	ショップマネジメント II	2後			2							1	
	フードコーディネート論	2前			2							4	
	カラーコーディネート論	2前			2					1			
	ラッピング演習	2後			1					1			
	マーケティング論	1後・2前			2			1				1	
	スポーツ栄養	2後			2							1	
	レシピ動画	2後			2					1	1		
	食健康・製菓マイスターコース横断	公衆衛生学 I	1前・1後			2							2
		食品学総論	1前	○		2		1					
食品学各論		1・2後			2							1	
食品学実験		1・2前			1		1						
食品衛生学 I		1前・1後	○		2		1						
食品衛生学実験		1・2後			1		1						
基礎栄養学		1前・1後	○		2		1						
応用栄養学		1後			2						1		
調理学		1・2前			2		1						
調理学実習 I		1・2前	○		1		1						
調理学実習 II	1・2後			1		1							
食品の官能評価・鑑別演習	2前			2							1		

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・カリキュラム編成の都合により、「アジアの言語と文化」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更
- ・教育課程充実のため、共通科目「食べものと栄養」を追加
- ・カリキュラム編成の都合により、「日本国憲法」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・カリキュラム編成の都合により、「現代の健康」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更
- ・教育課程充実のため、共通科目「スポーツ実技（ボウリング&ゴルフ）」を追加
- ・退職に伴う教員の変更及び令和7年4月1日付けで基幹教員の特任講師1名を配置したため、「キャリア基礎演習」、「キャリアデザイン演習」の基幹教員等の配置を「教授7、講師3、助教1」から「教授6、講師5、助教1」に変更
- ・退職に伴う教員の変更により、「データサイエンス・リテラシー」の基幹教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更
- ・カリキュラム編成の都合により、「コミュニケーション論」の基幹教員等の配置を「教授1」から「基幹教員以外の教員1」に変更
- ・退職に伴う教員の変更により、「コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授1、講師1」から「講師2」に変更
- ・退職に伴う教員の変更により、「コンピュータリテラシー（情報表現）Ⅰ」の配当年次を「1後」から「1前」に変更し、基幹教員等の配置を「教授1、講師1」から「講師1、基幹教員以外の教員1」に変更
- ・退職に伴う教員の変更により、「地域貢献専門演習Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授7、講師3、助教1」から「教授6、講師4、助教1」に変更
- ・退職に伴う教員の変更により、「地域貢献専門演習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授7、講師3、助教1」から「教授6、講師4、助教1」に変更
- ・退職に伴う教員の変更により、「地域貢献専門演習Ⅲ」の基幹教員等の配置を「教授7、講師3、助教1」から「教授6、講師4、助教1」に変更
- ・令和7年4月1日付けで基幹教員の特任講師を1名配置したため、「カラーコーディネート論」「ラッピング演習」「デジタルライフデザインⅡ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「講師1」に変更
- ・カリキュラム編成の都合により、「マーケティング論」の配当年次を「1前・2前」から「1後・2前」に変更し、基幹教員等の配置を「教授1」から「教授1、基幹教員以外の教員1」に変更
- ・カリキュラム編成の都合により、「レシピ動画」の基幹教員の配置を「講師1、基幹教員以外の教員1」から基幹教員「講師1、助教1」に変更
- ・退職に伴う教員の変更により、「コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授1、講師1」から「講師2」に変更
- ・退職に伴う教員の変更により、「コンピュータリテラシー（情報表現）Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授1、講師1」から「講師1」に変更
- ・カリキュラム編成の都合により、「献立作成演習」の基幹教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更
- ・カリキュラム編成の都合により、「食品衛生学Ⅲ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1」に変更
- ・カリキュラム編成の都合により、「製菓理論（和菓子）」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・カリキュラム編成の都合により、「デジタルライフデザインⅢ」の配当年次を「2後」から「1後」に変更
- ・カリキュラム編成の都合により、「ITパスポート演習」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「講師1」に変更

(注)・ 2 (1) -④ 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。

変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	161 科目	0 科目	174 科目	13 科目 [0]	163 科目 [2]	0 科目 [0]	176 科目 [2]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	子どもの世界	2	1, 2後	一般	選択	共通科目の充実のため、設置届出後に「子どもの世界」と同じカテゴリー（共通科目第1群）に「食べものと栄養」を新設したため「子どもの世界」を不開講とした。
2	日本語Ⅰ	1	1前	一般	選択	履修の対象となる外国人留学生が不在のため不開講とした。
3	日本語Ⅱ	1	1後	一般	選択	履修の対象となる外国人留学生が不在のため不開講とした。

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「子どもの世界」の不開講については、「食べものと栄養」を新設したことにより学生がより幅広い分野の教養を身につけられるカリキュラムとなったため、学生の履修に関しマイナスの影響はないと考える。
「日本語Ⅰ」及び「日本語Ⅱ」については、対象の外国人留学生が不在のため、学生の履修への影響はない。
いずれも、学生には履修の手引きに掲載されたカリキュラム表により周知し、教務オリエンテーションで説明している。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{174} = \boxed{1.72}\%$$

数式が入力されています。

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	12,681㎡	㎡	㎡	12,681㎡		
	そ の 他	8,072㎡	㎡	㎡	8,072㎡		
	合 計	20,753㎡	㎡	㎡	20,753㎡		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	12,813㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	12,813㎡ (㎡)			
(3) 教室・教員研究室		教 室	41室	教員研究室	33室		
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕		
	デジタルライフ ビジネス学科	16,000 [550] (15,843 [497])	0 [0] (0 [0])	40 [2] (35 [1])	0 [0] (0 [0])	14 (14)	0 (0)
	計	16,000 [550] (15,843 [497])	0 [0] (0 [0])	40 [2] (35 [1])	0 [0] (0 [0])	14 (14)	0 (0)
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		
	2,836㎡		0㎡		1,384.8㎡		
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	250千円	250千円	図書購入費	500千円	500千円
	共 同 研 究 費 等	1,500千円	1,500千円	設備購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,220千円	1,020千円	－千円	－千円	－千円	－千円
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入 等					

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	滋賀短期大学										収容定員充足率の7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
デジタルライフビジネス学科	年	人	年次人	人	短期大学士(生活ビジネス学)	0.78	倍	倍	年度	年度	滋賀県大津市電が丘2-4-4			
生活学科	2	150	-	300					令和7	同上	令和7年度入学生より学生募集停止			
幼児教育保育学科	2	-	-	-	短期大学士(生活学)	-	-	-	昭和45	同上				
ビジネスコミュニケーション学科	2	80	-	160	短期大学士(幼児教育保育学)	0.93	-	-	昭和45	同上				
デジタルライフビジネス学科(生活学科とビジネスコミュニケーション学科による学科連係課程実施学科)	2	-	-	-	短期大学士(ビジネス)	-	-	-	昭和62	同上	令和7年度入学生より学生募集停止			
大学全体	2	-	-	-	短期大学士(生活ビジネス学)	-	-	-	令和4	同上	令和7年度入学生より学生募集停止			
大学全体	2	230	-	460	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.3.3収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<デジタルライフビジネス学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授 (学 科 長)	中平真由巳 (59) <令和7年4月> 修士(家政学)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 地域食育演習 世界と地域の食文化 地域伝統食実習 フードライフ演習Ⅱ
基 (主 専)	教授	江見和明 (56) <令和7年4月> 修士(経営学)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ ライフ・ファイナンシャルプランニン グ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ マーケティング論 ビジネス社会の基礎 ビジネス基礎 簿記会計入門Ⅰ 簿記会計入門Ⅱ ビジネス会計 地域ビジネス論 フィールドスタディーズ

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授 (学 科 長)	中平真由巳 (59) <令和7年4月> 修士(家政学)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 地域食育演習 世界と地域の食文化 地域伝統食実習 フードライフ演習Ⅱ 食べものと栄養
基 (主 専)	教授	江見和明 (56) <令和7年4月> 修士(経営学)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ ライフ・ファイナンシャルプランニン グ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ マーケティング論 ビジネス社会の基礎 ビジネス基礎 簿記会計入門Ⅰ 簿記会計入門Ⅱ ビジネス会計 地域ビジネス論 フィールドスタディーズ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	沖山圭子 (62) <令和7年4月> 教育学士
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ コミュニケーション論 ホスピタリティ論 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 情報システム概論 医療保険事務Ⅰ 医療保険事務Ⅲ DPC/PDPS 医療保険事務Ⅳ 医療事務特講 医療事務コンピュータ 電子カルテ演習 医療秘書学 医療秘書実務 医師事務作業補助実務 実務実習
基 (主 専)	教授	田中裕之 (54) <令和7年4月> 博士(医学)
		現代の健康 キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 生理学 解剖生理学 解剖生理学実験 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験 からだの構造と機能 健康と疾病 臨床検査と薬の知識 医療用語 医療英語

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	沖山圭子 (62) <令和7年4月> 教育学士
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ ホスピタリティ論 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 情報システム概論 医療保険事務Ⅰ 医療保険事務Ⅲ DPC/PDPS 医療保険事務Ⅳ 医療事務特講 医療事務コンピュータ 電子カルテ演習 医療秘書学 医療秘書実務 医師事務作業補助実務 実務実習
基 (主 専)	教授	田中裕之 (54) <令和7年4月> 博士(医学)
		現代の健康 キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 生理学 解剖生理学 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験 からだの構造と機能 健康と疾病 臨床検査と薬の知識 医療用語 医療英語

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	濱田尚美 (56) <令和7年4月> 博士(健康学)
		<u>キャリア基礎演習※</u> <u>キャリアデザイン演習※</u> <u>地域貢献専門演習Ⅰ</u> <u>地域貢献専門演習Ⅱ</u> <u>地域貢献専門演習Ⅲ</u> 食品学総論 食品学実験 <u>食品衛生学Ⅰ</u> <u>食品衛生学Ⅱ</u> 食品衛生学実験 基礎栄養学
基 (主 専)	特別 教授	石井 明 (66) <令和7年4月> 専門学校卒
		<u>キャリア基礎演習※</u> <u>キャリアデザイン演習※</u> <u>デジタルライフビジネス概論※</u> <u>地域貢献専門演習Ⅰ</u> <u>地域貢献専門演習Ⅱ</u> <u>地域貢献専門演習Ⅲ</u> 製菓実習 <u>製菓理論(総合)</u> <u>製菓専門実習(洋菓子)Ⅲ</u> 製菓専門実習(技術) 製菓応用実習Ⅰ 製菓応用実習Ⅱ マイスター・トレーニング 製菓特別実習

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	濱田尚美 (56) <令和7年4月> 博士(健康学)
		<u>キャリア基礎演習※</u> <u>キャリアデザイン演習※</u> <u>地域貢献専門演習Ⅰ</u> <u>地域貢献専門演習Ⅱ</u> <u>地域貢献専門演習Ⅲ</u> 食品学総論 食品学実験 <u>食品衛生学Ⅰ</u> <u>食品衛生学Ⅱ</u> 食品衛生学Ⅲ 食品衛生学実験 基礎栄養学 食べものと栄養
基 (主 専)	特別 教授	石井 明 (66) <令和7年4月> 専門学校卒
		<u>キャリア基礎演習※</u> <u>キャリアデザイン演習※</u> <u>デジタルライフビジネス概論※</u> <u>地域貢献専門演習Ⅰ</u> <u>地域貢献専門演習Ⅱ</u> <u>地域貢献専門演習Ⅲ</u> 製菓実習 <u>製菓理論(総合)</u> <u>製菓専門実習(洋菓子)Ⅲ</u> 製菓専門実習(技術) 製菓応用実習Ⅰ 製菓応用実習Ⅱ マイスター・トレーニング 製菓特別実習 食べものと栄養

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	特別教授	小山内幸治 (68) <令和7年4月> 教育学修士
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 データサイエンス・リテラシー 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅰ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ コンピュータリテラシー(情報表現)Ⅰ コンピュータリテラシー(情報表現)Ⅱ
基 (主 専)	講師	山岡ひとみ (45) <令和7年4月> 修士(教育学)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 食生活論 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 臨床栄養学 臨床栄養管理学 臨床栄養学実習 臨床栄養管理学実習 給食経営計画管理論 給食経営計画実習 給食経営管理実習 給食経営管理学外実習(栄養士) 給食経営管理学外実習事前事後指導 レシピ動画

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	山岡ひとみ (45) <令和7年4月> 修士(教育学)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 食生活論 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 臨床栄養学 臨床栄養管理学 臨床栄養学実習 臨床栄養管理学実習 給食経営計画管理論 給食経営計画実習 給食経営管理実習 給食経営管理学外実習(栄養士) 給食経営管理学外実習事前事後指導 献立作成演習 食べものと栄養

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	小笠原寛夫 (48) <令和7年4月> 学士 (芸術)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ コンピュータリテラシー (データ処 理)Ⅰ コンピュータリテラシー (データ処 理)Ⅱ コンピュータリテラシー (情報表現) Ⅰ コンピュータリテラシー (情報表現) Ⅱ プログラミング入門 ウェブデザイン入門 SNS起業プロジェクト ビジュアル表現基礎 ビジュアル表現応用 フィールドスタディーズ レシピ動画
基 (主 専)	講師	伊澤亮介 (46) <令和7年4月> 博士 (言語社会学)
		アジアの言語と文化 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ ベトナム語Ⅰ ベトナム語Ⅱ 英語海外研修A 英語海外研修B キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ ビジネス文書表現Ⅰ ビジネス文書表現Ⅱ ビジネス基礎 TOEICⅠ TOEICⅡ フィールドスタディーズ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	小笠原寛夫 (48) <令和7年4月> 学士 (芸術)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ コンピュータリテラシー (データ処 理)Ⅰ コンピュータリテラシー (データ処 理)Ⅱ コンピュータリテラシー (情報表現) Ⅱ ウェブデザイン入門 SNS起業プロジェクト ビジュアル表現基礎 ビジュアル表現応用 フィールドスタディーズ レシピ動画
基 (主 専)	講師	伊澤亮介 (46) <令和7年4月> 博士 (言語社会学)
		アジアの言語と文化 ベトナム語Ⅰ ベトナム語Ⅱ 英語海外研修A 英語海外研修B キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 デジタルライフビジネス概論※ 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ ビジネス文書表現Ⅰ ビジネス文書表現Ⅱ ビジネス基礎 TOEICⅠ TOEICⅡ フィールドスタディーズ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	助教	白木理恵 (28) <令和7年4月> 修士(食農科学)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 食品の官能・評価鑑別演習 応用栄養学 応用栄養学実習 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論実習Ⅰ 栄養教育論実習Ⅱ 献立作成演習 地域食育演習 フードライフ演習Ⅰ
その他	教授 (学 長)	秋山元秀 (76) <令和7年4月> 文学修士
		近江学入門 国際地理

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	助教	白木理恵 (28) <令和7年4月> 修士(食農科学)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ 食品の官能・評価鑑別演習 応用栄養学 応用栄養学実習 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論実習Ⅰ 栄養教育論実習Ⅱ 地域食育演習 給食経営管理學外実習 給食経営管理學外実習事前事後指導 フードライフ演習Ⅰ レシピ動画 食べものと栄養
基 (主 専)	特任 講師	松本善樹 (61) <令和7年4月> 経営管理修士(専門職)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 地域貢献専門演習Ⅰ 地域貢献専門演習Ⅱ 地域貢献専門演習Ⅲ データサイエンス・リテラシー プログラミング入門 コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅰ コンピュータリテラシー(情報表現)Ⅰ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ ITパスポート演習
その他	教授 (学 長)	秋山元秀 (76) <令和7年4月> 文学修士
		近江学入門 国際地理

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	北尾岳夫 (58) <令和7年4月> 修士(体育学)
		こころとからだの健康 スポーツ実技(フィットネス) スポーツ演習
その他	教授	久米央也 (64) <令和7年4月> 教育学士
		数の不思議
その他	教授	柚木たまみ (63) <令和7年4月> 修士(教育学)
		音楽とは何か
その他	准教授	松村都子 (61) <令和7年4月> 短期大学卒
		子どもの世界
その他	講師	神村有紀 (54) <令和7年4月> 修士(社会学)
		心と身体のヘルスケア
その他	講師	早川滋人 (59) <令和7年4月> 修士(文学)
		心理学 心理学概論
その他	講師	渡邊暁彦 (54) <令和7年4月> 修士(法学)
		日本国憲法

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	北尾岳夫 (58) <令和7年4月> 修士(体育学)
		こころとからだの健康 スポーツ実技(フィットネス) スポーツ演習 スポーツ実技(ボウリング&ゴルフ)
その他	講師	久米央也 (64) <令和7年4月> 教育学士
		数の不思議
その他	教授	柚木たまみ (63) <令和7年4月> 修士(教育学)
		音楽とは何か
その他	准教授	松村都子 (61) <令和7年4月> 短期大学卒
		子どもの世界
その他	講師	神村有紀 (54) <令和7年4月> 修士(社会学)
		心と身体のヘルスケア
その他	講師	早川滋人 (59) <令和7年4月> 修士(文学)
		心理学 心理学概論
その他	講師	渡邊暁彦 (54) <令和7年10月> 修士(法学)
		日本国憲法

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	柴田秀樹 (37) <令和7年4月> 博士 (文学)
		フランス語 I フランス語 II
その他	講師	李 景芳 (69) <令和7年4月> 修士 (文学)
		中国語 I 中国語 II
その他	講師	山中博史 (67) <令和7年10月> 教育学士
		スポーツ実技 (テニス)
その他	講師	山村 聡 (40) <令和7年10月> 学士 (共生科学)
		スポーツ実技 (バレー)
その他	講師	大園雄也 (31) <令和7年4月> 修士 (英語学)
		英語 I 英語 II
その他	講師	杉 律子 (53) <令和8年4月> 学士 (芸術)
		ショップマネジメント I ショップマネジメント II
その他	講師	仲村恭子 (41) <令和8年4月> 修士 (家政学)
		カラーコーディネート論 デジタルライフデザイン II

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	柴田秀樹 (37) <令和7年4月> 博士 (文学)
		フランス語 I フランス語 II
その他	講師	李 景芳 (69) <令和7年4月> 修士 (文学)
		中国語 I 中国語 II
その他	講師	山中博史 (67) <令和7年10月> 教育学士
		スポーツ実技 (テニス)
その他	講師	山村 聡 (40) <令和7年10月> 学士 (共生科学)
		スポーツ実技 (バレー)
その他	講師	大園雄也 (31) <令和7年4月> 修士 (英語学)
		英語 I 英語 II
その他	講師	杉 律子 (53) <令和8年4月> 学士 (芸術)
		ショップマネジメント I ショップマネジメント II
その他	講師	仲村恭子 (40) <令和7年4月> 修士 (家政学)
		キャリア基礎演習 キャリアデザイン演習 カラーコーディネート論 デジタルライフデザイン II ラッピング演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	井上剛彦 (69) <令和7年10月> 農学士
		食品衛生学Ⅲ 公衆衛生学Ⅰ
その他	講師	清水まゆみ (68) <令和7年10月> 農学博士
		食品学各論
その他	講師	今井悠輔 (41) <令和7年4月> 専門学校卒
		製パン理論 製菓基礎実習(製パン) 製菓専門実習(製パン)
その他	講師	内田茂豊 (64) <令和8年4月> 中学校卒
		フードコーディネート論※
その他	講師	鎌田 勇 (55) <令和8年4月> 高等学校卒
		フードコーディネート論※
その他	講師	馬場知也 (52) <令和8年4月> 専門学校卒
		フードコーディネート論※
その他	講師	弓削 高広 (57) <令和8年4月> 専門学校卒
		フードコーディネート論※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	井上剛彦 (69) <令和7年10月> 農学士
		公衆衛生学Ⅰ
その他	講師	清水まゆみ (68) <令和7年10月> 農学博士
		食品学各論
その他	講師	今井悠輔 (41) <令和7年4月> 専門学校卒
		製パン理論 製菓基礎実習(製パン) 製菓専門実習(製パン)
その他	講師	内田茂豊 (64) <令和8年4月> 中学校卒
		フードコーディネート論※
その他	講師	鎌田 勇 (55) <令和8年4月> 高等学校卒
		フードコーディネート論※
その他	講師	馬場知也 (52) <令和8年4月> 専門学校卒
		フードコーディネート論※
その他	講師	弓削 高広 (57) <令和8年4月> 専門学校卒
		フードコーディネート論※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	河地章子 (59) <令和7年4月> 経営学士
		製菓基礎実習(和菓子)
その他	講師	久保佳範 (41) <令和8年4月> 博士(栄養学)
		解剖生理学実験
その他	講師	窪田秀樹 (51) <令和7年10月> 高等学校卒
		製菓専門実習(洋菓子)Ⅱ
その他	講師	野田敏夫 (66) <令和7年4月> 経済学士
		製菓理論(和菓子)
その他	講師	林 宏一 (69) <令和7年4月> 獣医学士
		公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 衛生法規
その他	講師	前田省三 (68) <令和7年4月> 高等学校卒
		製菓基礎実習(洋菓子) 製菓専門実習(洋菓子)Ⅰ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	河地章子 (59) <令和7年4月> 経営学士
		製菓基礎実習(和菓子) 製菓理論(和菓子)
その他	講師	久保佳範 (41) <令和8年4月> 博士(栄養学)
		解剖生理学実験
その他	講師	窪田秀樹 (51) <令和7年10月> 高等学校卒
		製菓専門実習(洋菓子)Ⅱ
その他	講師	
その他	講師	林 宏一 (69) <令和7年4月> 獣医学士
		公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 衛生法規
その他	講師	前田省三 (68) <令和7年4月> 高等学校卒
		製菓基礎実習(洋菓子) 製菓専門実習(洋菓子)Ⅰ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	増田絵美 (41) <令和7年4月> 学士(農学)
		製菓理論(洋菓子)
その他	講師	山中千佳也 (65) <令和8年10月> 家政学士
		公衆栄養学
その他	講師	窪池正己 (66) <令和8年10月> 高等学校卒
		製菓専門実習(和菓子)
その他	講師	山崎圭世子 (46) <令和8年10月> 修士(食物学)
		スポーツ栄養
その他	講師	木谷康子 (68) <令和8年10月> 家政学修士
		ラッピング演習
その他	講師	垣内美和子 (53) <令和7年4月> 短期大学卒
		医療事務総論 医療保険事務Ⅱ 医療関係法規
その他	講師	岡本芳也 (54) <令和8年10月> 修士(社会福祉学)
		地域福祉

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	増田絵美 (41) <令和7年4月> 学士(農学)
		製菓理論(洋菓子)
その他	講師	山中千佳也 (65) <令和8年10月> 家政学士
		公衆栄養学
その他	講師	窪池正己 (66) <令和8年10月> 高等学校卒
		製菓専門実習(和菓子)
その他	講師	岩井圭世子 (46) <令和8年10月> 修士(食物学)
		スポーツ栄養
その他	講師	
その他	講師	垣内美和子 (53) <令和7年4月> 短期大学卒
		医療事務総論 医療保険事務Ⅱ 医療関係法規
その他	講師	岡本芳也 (54) <令和8年10月> 修士(社会福祉学)
		地域福祉

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	塩尻靖子 (64) <令和7年10月> 高等学校卒
		手話
その他	講師	藤堂隆司 (71) <令和8年10月> 経営学士
		医療情報学 医療経営学
その他	講師	牧 雪枝 (59) <令和8年10月> 学士(福祉経営)
		介護概論
その他	講師	松田和郎 (57) <令和8年4月> 博士(医学)
		患者論と医の倫理
その他	講師	河田憲政 (47) <令和7年4月> 修士(芸術)
		写真表現Ⅰ 写真表現Ⅱ
その他	講師	山本洋明 (35) <令和7年4月> 学士(学術)
		ウェブデザイン応用 CG演習 SNS基礎 マルチメディア演習
その他	講師	脇原大輔 (43) <令和7年10月> 学士(情報科学)
		プログラミング実践 データベース演習 映像デザインⅠ 映像デザインⅡ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	塩尻靖子 (64) <令和7年10月> 高等学校卒
		手話
その他	講師	藤堂隆司 (71) <令和8年10月> 経営学士
		医療情報学 医療経営学
その他	講師	牧 雪枝 (59) <令和8年10月> 学士(福祉経営)
		介護概論
その他	講師	松田和郎 (57) <令和8年4月> 博士(医学)
		患者論と医の倫理
その他	講師	河田憲政 (47) <令和7年4月> 修士(芸術)
		写真表現Ⅰ 写真表現Ⅱ
その他	講師	山本洋明 (35) <令和7年4月> 学士(学術)
		ウェブデザイン応用 CG演習 SNS基礎 マルチメディア演習
その他	講師	脇原大輔 (43) <令和7年10月> 学士(情報科学)
		プログラミング実践 データベース演習 映像デザインⅠ 映像デザインⅡ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	若生真理子 (68) <令和7年4月> 修士(学術)
		ビジネス実務Ⅰ ビジネス実務Ⅱ
その他	講師	玄 哲浩 (56) <令和8年10月> 修学(法学)
		現代社会論
その他	講師	枝 富喜夫 (67) <令和7年10月> 経営学士
		ITパスポート演習 情報セキュリティ
その他	講師	谷奥孝司 (67) <令和8年10月> 文学士
		イベントプロデュース論
その他	講師	菅本(谷口) 祐子 (46) <令和7年4月> MA Fine Art(英国)
		デジタルライフデザインⅠ
その他	講師	河本浩司 (54) <令和8年10月> 専門学校卒
		デジタルライフデザインⅢ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	玄 哲浩 (56) <令和8年10月> 修学(法学)
		現代社会論
その他	講師	枝 富喜夫 (68) <令和8年10月> 経営学士
		情報セキュリティ
その他	講師	谷奥孝司 (67) <令和8年10月> 文学士
		イベントプロデュース論
その他	講師	菅本(谷口) 祐子 (46) <令和7年4月> MA Fine Art(英国)
		デジタルライフデザインⅠ
その他	講師	名和宏晃 (56) <令和7年10月> 経営学士
		デジタルライフデザインⅢ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その 他	講師	上田知美 (65) <令和7年4月> 修士(都市政策)
		コミュニケーション論 ビジネス実務Ⅰ ビジネス実務Ⅱ
その 他	講師	矢嶋 聡 (46) <令和7年10月> 修士(経営管理)
		マーケティング論
その 他	講師	北 憲一 (65) <令和7年4月> 経済学士
		コンピュータリテラシー(情報表現) Ⅰ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

<p>・基幹教員の辞任 小山内幸治特別教授（退職）</p> <p>・基幹教員の就任 松本善樹特任講師（新規採用） 仲村恭子特任講師（教員区分「その他」から「基幹教員」へ変更）</p> <p>・氏名の変更（婚姻による変更） 山崎圭世子から岩井圭世子に変更</p> <p>・職名を教授から講師に変更 久米央也</p> <p>・就任（予定）年月の変更 渡邊暁彦講師</p> <p>・就任（予定）年月及び年齢の変更 仲村恭子特任講師、枝 富喜夫講師</p> <p>・新規開講により基幹教員に担当授業科目を追加 中平真由巳教授、濱田尚美教授、石井明特別教授、山岡ひとみ講師、白木理恵助教の担当授業科目に「食べものと栄養」を追加</p> <p>・新規開講により担当授業科目を追加 北尾岳夫教授（その他）の担当授業科目に「スポーツ実技（ボウリング&ゴルフ）」を追加</p> <p>・カリキュラム編成の都合により担当者変更 井上剛彦講師（その他）「食品衛生学Ⅲ」を濱田尚美教授（基幹教員）に変更 白木理恵助教（基幹教員）「献立作成演習」を山岡ひとみ講師（基幹教員）に変更 沖山圭子教授（基幹教員）「コミュニケーション論」を上田知美講師（その他）に変更 小笠原寛夫講師（基幹教員）「プログラミング入門」を松本善樹特任講師（基幹教員）に変更 小笠原寛夫講師（基幹教員）「コンピュータリテラシー（情報処理）Ⅰ」を北憲一講師（その他）に変更 枝富喜夫講師（その他）「ITパスポート演習」を松本善樹特任講師（基幹教員）に変更 山岡ひとみ講師（基幹教員）「レシビ動画」を白木理恵助教（基幹教員）に変更</p> <p>・教育充実のため担当者として追加 仲村恭子特任講師（基幹教員）：キャリア基礎演習／キャリアデザイン演習 矢嶋聡講師（その他）：マーケティング論</p> <p>・届出時記載漏れによる担当授業科目追加 白木理恵助教（基幹教員）：給食経営管理学外実習／給食経営管理学外実習事前事後指導</p> <p>・基幹教員の就任辞任による担当者変更 小山内幸治特別教授「キャリア基礎演習」「キャリアデザイン演習」「地域貢献専門演習Ⅰ」「地域貢献専門演習Ⅱ」「地域貢献専門演習Ⅲ」「データサイエンス・リテラシー」「コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅰ」「コンピュータリテラシー（情報表現）Ⅰ」「コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅱ」を松本善樹特任講師に変更 小山内幸治特別教授「コンピュータリテラシー（情報表現）Ⅱ」は小笠原寛夫講師（基幹教員）のみが担当</p> <p>・講師の就任辞任による担当者変更 野田敏夫講師（その他）「製菓理論（和菓子）」を河地章子講師（その他）に変更 木谷康子講師（その他）「ラッピング演習」を仲村恭子特任講師（基幹教員）に変更 河本浩司講師（その他）「デジタルライフデザインⅢ」を名和宏晃講師（その他）に変更 若生眞理子講師（その他）「ビジネス実務Ⅰ」、「ビジネス実務Ⅱ」を上田知美講師（その他）に変更</p>
--

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。）
- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
11 名	3 名	9 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況							
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(B'))	助手(B')
7	0	4	0	11	11	4	6	0	5	1	12	12	4
(6)	(0)	(5)	(1)	(12)	(12)	(4)							
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画							
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(D'))	助手(D')
6	0	5	1	12	12	4	6	0	5	1	12	12	4
[Δ1]	[0]	[+2]	[0]	[+1]	[+1]	[0]	[Δ1]	[0]	[+2]	[0]	[+1]	[+1]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計)」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。
・現在(報告時)の状況には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・**現在(報告時)の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)**
・現在(報告時)の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{11} = 109.09\%$$
 【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{12}{11} = 109.09\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{12} = 8.33\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{4}{4} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	小山内 幸治	R7.3	必修	キャリア基礎演習	①	R7.3……………退職のため就任辞退（7）						
				必修	キャリアデザイン演習	①							
				必修	データサイエンス・リテラシー	①							
				必修	地域貢献専門演習Ⅰ	①							
				必修	地域貢献専門演習Ⅱ	①							
				必修	地域貢献専門演習Ⅲ	①							
				必修	コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅰ	①							
				必修	コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅱ	①							
				必修	コンピュータリテラシー（情報表現）Ⅰ	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
1	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
1	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{11} = 9.09\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

- ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職のため就任辞退した基幹教員と同じ研究分野の教員を基幹教員として新規採用し、担当授業科目もすべて前任者から後任者に引き継いでいるため、教員の辞任による学生の履修等への影響はないと考える。学生には、新年度に配付する「履修の手引き」に掲載されたカリキュラム表及び「シラバス」により、担当教員の変更を周知している。また、授業開始前に実施する新年度オリエンテーションで、教員の紹介を行っている。授業実施に係る具体的な留意事項（授業の難易度、内容、進め方、学生指導等）は、同コースに所属する他の教員とチームで対応するなど、新任教員をフォローする体制を整えている。

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和6年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年度)			

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<デジタルライフビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

デジタルライフビジネス学科に科会を設置した。専任教員は当学科の科会に出席している。

学長及び教授、准教授、講師、助教で構成する短期大学の教授会には全学科の教員すべてが出席する。また、学内の企画委員会、教学マネジメント委員会、教務委員会、学生支援委員会、キャリア支援委員会等には学科選出の教員が委員として運営に携わっている。

FD・SD活動については、教育活動の改善及び向上を円滑に実施するため、教学マネジメント委員会を設置し、教育力向上のためのシステムや教授法の開発、教育活動の支援、教職員の能力開発、学内外の教育研究等に関する情報の収集・分析・評価等を企画・審議して進めている。具体的なFD活動は、FD・SD部会が教員の教育資質向上のための研修会等を開催している。これらに加え、全学的な人権研修の開催や外部研修会への教職員の出席等により、本学の教育内容等の改善を図っている。なお、専任教員に対しては専門教科研究や外部研修等に充てられるよう、毎週、月曜日から金曜日のうち1日を研修日としている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

月1回定例（第4木曜日）の科会を開催している。基本、当学科専任教員及び学科事務職員が出席している。教授会は月1回定例（第1木曜日）開催され、全教員が出席している。教学マネジメント委員会は月1回定例（第3木曜日）開催され、当学科からは学科長と副学科長が参加している。FD・SD部会は、必要に応じて開催している。その他、企画委員会、教務委員会、学生支援委員会、キャリア支援委員会が月1回定例（第2木曜日）開催され、全学科から各1名以上の教員が参加している。

c 委員会の審議事項等

- ・科会の審議事項（規程より転載）
 - (1) 学科長候補者の推薦
 - (2) 科の特別予算案の立案
 - (3) 学長より要請のあった場合、選出される各種委員の候補者の推薦
 - (4) 国内研究員の候補者の推薦
 - (5) その他、科の運営に関する事項
- ・教授会の審議事項（規程より転載）
 - (1) 入学及び卒業に関する事項
 - (2) 学位授与に関する事項
 - (3) 教育課程の編成に関する事項
 - (4) 学生の学修評価に関する事項
 - (5) 学生の賞罰に関する事項
 - (6) 教員の人事に関する事項
 - (7) 学則その他の規定に関する事項
- ・教学マネジメント委員会の審議事項（規程により転載）
 - (1) 全学の教育方針の策定に関すること
 - (2) 教育の質的向上に関すること
 - (3) 教育の内部質保証に関すること
 - (4) その他、大学の教育改革及び教育（教育環境を含む）に関すること。
- ・FD・SD部会（規程により転載）
 - (1) FD及びSDに関すること
 - (2) 教育力向上のためのシステムや教授法の開発に関すること
 - (3) 教育活動の支援、教職員の能力開発に関すること

② 実施状況

a 実施内容

・FD研修会

- 令和6年度は以下のとおり実施した。
- 8月22日（木） PROGテストの結果分析と活用について
 - 12月5日（木） シラバス作成に関する留意事項
 - 2月6日（木） Teams 研修会

・SD研修会

- 令和6年度は以下のとおり実施した。
- 9月5日（木） 合理的配慮・障害学生支援について

・教員相互の授業参観

前期と後期に期間を設けて実施している。

・新規採用者のための研修会

新規採用者には、学校法人純美禮学園及び滋賀短期大学として「令和7年度新規採用職員研修会」及び「新規採用者対象事務局ガイダンス」を実施した。

b 実施方法

対面で開催している。なお、FD研修会・SD研修会については、オンラインを併用したハイブリッド形式を積極的に導入し、原則として欠席者向けにオンデマンドで配信することとしている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

学内で実施しているFD研修会、SD研修会等には、毎回ほぼ全員の教員が参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修内容を踏まえ、各教員が教育・研究の改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各期の後半に受講者10名以上の全クラスで実施している。その際アンケートの意義を高めていくために、結果に対する教員コメントをお願いしている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員へは、個々の集計結果（4段階報告）及び全体の集計結果を返却し、授業の改善等に活かしている。
- ・学生へは、学内ポータルにて、全体の集計結果を掲載し、学生にフィードバックする。
- ・大学として、全体の集計結果をHPに公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

デジタルライフビジネス学科は、Society5.0の到来を控え、生活とビジネスの基礎を身につけ高度なデジタル社会の中で活躍できる人材を育成することを教育研究上の目的として、令和4年に学科等連係課程実施学科として設置したデジタルライフビジネス学科の目的を、より広範に実現し充実させるため、地域生活の発展に貢献し、デジタル社会に様々な分野で的確に対応できる人材を養成するという本学の理念に沿ったものとして、生活学科とビジネスコミュニケーション学科の教育研究内容の中核部分を受け継ぎつつ発展させた、新たなデジタルライフビジネス学科として設置している。そのため取得できる資格や卒業後の進路を考慮して、食健康・製菓マイスター・総合医療事務・デジタルビジネスの4コースを設けている。

今後は、人材育成の目的達成に向け、日常的に学修成果の達成状況について点検・評価を行い、授業の工夫・改善、教育内容の充実に向けた取り組みを進めて行く。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和8年2月 公表（予定）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和8年2月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和4年度に評価機関（一般財団法人大学・短期大学基準協会）の認証評価を受け、適格と認定された。次回は令和11年度の受審を予定している。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。